

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 安土桃山時代

名前

得点

/8

問1 千利休が完成させた「わび茶」の精神性やその仕組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2023年 岡山公立入試 類似）

- 豪華な金銀の装飾を施した茶室で、高価な大陸製の陶磁器を鑑賞することを第一の目的とした。
- 質素な茶室や身近な道具を用いることで、外見の華美さを避け、内面的な精神の静寂や豊かさを追求した。
- 大規模な寺院において、多くの僧侶たちが修行の一環として集団で茶を飲む儀礼を厳格に定めた。
- 西洋から伝わったキリスト教の儀礼と結びつき、異文化交流を促進するための社交の場として発展した。

問2 16世紀、スペイン王の援助を受けて大西洋を渡り、フィリピンで本人は亡くなったものの、その船団が人類で初めて世界一周を成し遂げた人物は誰ですか。（2016年 大阪公立入試 類似）

- マゼラン
- コロンブス
- パスコ・ダ・ガマ
- マルコ・ポーロ

問3 フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来航したことをきっかけに、キリスト教の布教とともに活発化した南蛮貿易について、当時の大名たちがこの貿易を積極的に推進した理由として最も適切なものはどれですか。（2016年 香川公立入試 類似）

- 鉄砲や火薬といった強力な武器を入手して、軍事的な優位を築くため。
- 勘合（符）を用いて倭寇と区別し、明との公的な貿易を独占するため。
- 平清盛が整備した大輪田泊を利用して、中国の宋との交流を深めるため。
- キリスト教を国教として定め、仏教勢力の不満を抑えるため。

問4 豊臣秀吉が全国規模で実施した土地調査では、ものさしや枡（ます）を統一し、田畑の面積や収穫量を石高（こくだか）で表しました。この調査結果を村ごとにまとめ、実際に耕作している農民の名前を登録することで、年貢を納める責任者を確定させた台帳を何といいますか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

- 検地帳
- 土地台帳
- 浮世絵草子
- 分限帳

問5 16世紀後半、織田信長や豊臣秀吉が天下統一を進めた時期に栄えた文化の特色として、最も適切なものはどれか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

- 戦国大名の威風を反映した、豪華で壮大な文化
- 公家と武家の文化が混じり合い、禅宗の影響を強く受けた文化
- 上方の町人を主な担い手とした、人間味豊かな文化
- 唐の影響を強く受けた、国際色豊かな貴族文化

問6 豊臣秀吉が「刀狩令」を出した際、没収した武器の用途について農民たちにどのように説明したとされていますか。当時の状況として正しいものを選びなさい。（2024年 栃木公立入試 類似）

- 京都の東山に建立する大仏殿の釘やかすがいなどの材料にする
- 海外との貿易において、主要な輸出品として加工し活用する
- 戦国時代から続く戦乱を終結させるため、すべて海に沈めて廃棄する
- 新たに組織する足軽階級の公的な装備として再利用する

問7 日本列島の西端に位置し、朝鮮半島や中国大陸に最も近い九州地方は、古くから日本の外交・防衛の最前線でした。7世紀、百済を復興させるために軍を送った日本（ヤマト政権）が、朝鮮半島の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した後に、九州沿岸の守りを固めるためにとられた措置として最も適切なものはどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

- 東国から徴兵された兵士を「防人」として北九州沿岸などに配置した
- モンゴル帝国の侵攻に備え、博多湾の沿岸に石造りの防塁を築いた
- キリスト教の広まりを防ぐため、フランシスコ・ザビエルを国外へ追放した
- 大陸への遠征拠点とするため、肥前国の名護屋に大規模な城を築いた

問8 16世紀の南蛮貿易の進展に伴い、キリスト教の宣教師らによって日本にもたらされた「西洋の技術」と、それに関連する具体的な文化的事例について説明した文として正しいものを次の中から選んでください。（2021年 長野県公立入試 類似）

- 活版印刷の技術が伝えられ、ローマ字を用いて『平家物語』などの日本の古典文学を印刷した「キリシタン版」が制作された。
- 木版印刷の技術が確立されたことで、浮世絵が庶民の間で流行し、東海道五十三次などの作品が広く普及した。
- 測量技術の向上により、伊能忠敬が日本全国を実際に歩いて測量し、精密な日本地図である「大日本沿海輿地全図」を完成させた。
- 製糸技術の近代化を目指し、フランスの技術を導入して群馬県に富岡製糸場が建設され、生糸の輸出が盛んになった。

## 答え合わせ・解説

- 問1 **答え 2**  
**質素な茶室や身近な道具を用いることで、外見の華美さを避け、内面的な精神の静寂や豊かさを追求した。**
- 「わび茶」は、不足の中に美しさを見出す「わび」の精神を重んじています。千利休は、わずか二畳という狭い茶室（待庵など）や、身近な竹の道具、素朴な和風の陶器を用いることで、権力や財力による誇示を否定し、亭主と客人が一对一で向き合う深い精神性を大切にしました。
- 問2 **答え 1**  
**マゼラン**
- 大航海時代の16世紀、スペインの支援を受けたマゼラン（マガリャンイス）の船団は、南米大陸南端の海峡を通過して太平洋を横断しました。マゼラン自身はフィリピンでの戦いで命を落としましたが、生き残った乗組員が1522年にスペインに帰還し、地球が丸いことを実証しました。
- 問3 **答え 1**  
**鉄砲や火薬といった強力な武器を入手して、軍事的な優位を築くため。**
- 当時の九州をはじめとする戦国大名たちは、領国を強化するために最新の技術や兵器を求めていました。ポルトガル人などの南蛮商人と取引を行うためには、宣教師によるキリスト教の布教を許可することが条件となる場合が多く、大名たちは軍事的な利益（鉄砲や火薬の入手）を目的に貿易を奨励しました。中には自らキリスト教徒になるキリシタン大名も現れました。なお、勘合貿易は室町時代の、大輪田泊の整備は平安時代末期のできごとです。
- 問4 **答え 1**  
**検地帳**
- 秀吉は「一地一作人」の原則に基づき、一つの土地に対して一人の耕作者を特定しました。これにより、中世まで続いていた複雑な荘園領主の権利が否定され、農民が直接、国に対して年貢を納める義務を負う仕組みが整いました。このとき作成された記録が検地帳であり、近世の幕藩体制を支える経済的基盤となりました。
- 問5 **答え 1**  
**戦国大名の威風を反映した、豪華で壮大な文化**
- この時代は、天下統一を目指す戦国大名の強大な権力や富を背景に、力強く華やかな文化が形成された。姫路城などの壮大な城郭建築や、金箔を多用した障壁画はその象徴である。公家と武家の文化が混じり合ったのは室町文化、上方の町人が担い手となったのは元禄文化、唐の影響が強いのは飛鳥・奈良時代の文化であるため、混同しないよう注意が必要である。
- 問6 **答え 1**  
**京都の東山に建立する大仏殿の釘やかすがいなどの材料にする**
- 秀吉は刀狩を命じる際、没収した武器を方広寺（京都）の大仏造立の材料にすると説明しました。これは、武器を差し出すことが現世の利益や来世の救済につながるという宗教的な名目を持たせることで、農民からの反発を和らげ、スムーズに武器を回収しようとする意図がありました。
- 問7 **答え 1**  
**東国から徴兵された兵士を「防人」として北九州沿岸などに配置した**
- 白村江の戦い（663年）での敗北後、ヤマト政権は唐や新羅による日本本土への侵攻を強く警戒しました。そのため、九州の統治拠点である大宰府を守るために水城（みずき）や大野城を築くとともに、主に東国から徴兵された兵士を「防人（さきもり）」として北九州沿岸の警備に当たらせました。石塁の構築は鎌倉時代の元寇に対する備えであり、名護屋城の築城は安土桃山時代の豊臣秀吉によるものです。
- 問8 **答え 1**  
**活版印刷の技術が伝えられ、ローマ字を用いて『平家物語』などの日本の古典文学を印刷した「キリシタン版」が制作された。**
- イエズス会の宣教師らは布教活動の一環として、西洋の活版印刷機を日本に持ち込みました。これを利用して、キリスト教の教義書だけでなく、日本語を学ぶ宣教師のために『平家物語』や『伊曾保（イソップ）物語』といった日本の文学作品がローマ字で印刷・出版されました。これらは「キリシタン版」や「天草版」と呼ばれます。浮世絵や伊能忠敬の地図は江戸時代、富岡製糸場は明治時代の出来事です。